

『つくばで世界レベルの数値モデル研究を行いませんか?』

気象庁気象研究所では、下記の要領で研究員（任期付き）を募集しています。

(1) 募集人員：1名

(2) プロジェクト

平成21 - 23年度環境省地球環境研究総合推進費

「風送ダストの飛来量把握に基づく予報モデルの精緻化と健康・植物影響評価に関する研究」

(3) 研究内容

現在、気象研究所では、全球エアロゾル化学輸送モデル(MASINGAR)とアンサンブル・カルマン・フィルタを用いた大気微量成分の4次元データ同化システムを、気象庁数値予報課、米国メリーランド大学、東北大学などと共同で開発しています。本研究では、MASINGARの改良およびダスト分布解析値(=予報初期値)の高精度化を通じて、風送ダストの予報精度を向上させることを目標としています。そして、気象庁で日々発表されている黄砂情報の高度化に貢献することを目指しています。

そのため、このシステムを用いて国立環境研究所の黄砂ライダーネットワークデータのデータ同化を行い、東アジアのダスト分布解析値を作成することや、気象研究所などが黄砂発生域や国内において行う現地観測によって得られたデータを用いたMASINGARの改良等を行って戴きます。

(4) 応募資格

- ・採用時に博士もしくは修士の学位を有する方、或いは同等と認められる方
- ・大気化学、特にエアロゾル(ダストだけでなく硫酸塩、海塩、炭素系なども含む)の研究に興味のある方。大気化学の研究経験(モデリングに限らず観測、解析なども含む)があれば大歓迎ですが、他分野出身(気象学、統計学、情報工学など)の方も我々のグループの中でシナジー効果を発揮できます!
- ・数値シミュレーションモデルや4次元データ同化スキームの開発に興味のある方。UNIXやfortran90/95の知識があれば大歓迎ですが、溢れんばかりの意欲があればこれらの経験の有無は問いません!
- ・(追記)大気科学の素養やモデル開発の経験に不安があるという方も、専門家が懇切丁寧に指導しますので、ご心配なく。本質的に必要なのは、大気科学への飽くなき興味とガッツです。我が国有数の研究環境の下、一緒に世界レベルの研究を進めようではありませんか!

(5) 採用条件

採用予定時期：平成21年9月1日以降の出来るだけ早い時期

採用期間：平成21年9月1日～平成22年3月31日(最長で平成24年3月31日まで更新が可能)

勤務地：茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所環境・応用気象研究部

給与その他の勤務条件：初年度は人材派遣会社に登録して頂き、気象研究所の客員研究員という形で働いてもらいます。その後は気象研究所の関連規程によります。その他詳細は直接お問い合わせ下さい。

(6) 応募締切：平成21年6月30日(火)

(7) 問い合わせ先

〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象庁気象研究所

物理気象研究部第2研究室 室長 三上正男

電話：029-853-8704

メール：mmikami@mri-jma.go.jp